

ボランティアの改善

黒崎 煌代
(兵庫県立北摂三田高等学校 人間科学類型)

動機とボランティアの現状

《近年の災害》

| | 死者 | 住宅被害 | 避難者 |
|--------|---------|---------|----------|
| 東日本大震災 | 14517 名 | 76800 棟 | 130229 名 |

2019 年

| | | | |
|---------|------|---------|----------|
| 台風 19 号 | 99 名 | 94139 棟 | 277000 名 |
|---------|------|---------|----------|

現在

東日本大震災の避難者 約 54000 名

2019 年台風 19 号 避難者 116 名

災害後のケアをもっと充実させる必要がある！

災害後といえば・・・ボランティア

《ボランティアの現状》参加者の高齢化、若年層不足

参加者の固定化

全体的な参加者不足

企業のボランティア

＜ポイント＞・金銭的な面に関わらない

・社員にマイナス効果を与えない

・宣伝

提案 1 (ポイント制度)

・ボランティアに参加した企業に対して、一回につき一定のポイントを付与する

・ポイントが貯まればテレビCM作成の許可を出す

＜結果予想＞人数不足解消

提案 1 の問題点 ・ポイント管理の新たな機関が必要

・現在すでにCMを出している会社への対応

提案 2 (広報部 + ボランティア部)

・広報部内に「ボランティア部」を発足。

・他の部署との給料の差は作らない

・通常広報部の仕事を行う

・ボランティア休暇

提案 2 の問題点 ・行きたいのに行けない

・ボランティア休暇が取りにくい

今後の見通し

ボランティア事業に積極的な企業を訪問。ボランティア事業の現状や意見を聞く